

商工業振興課長の久保です

4月からお世話になっております。何卒よろしくお願い申し上げます。
5年ぶりの産業経済労働部であります。大分様相が変わって（さらに活気が
出て躍動的になったと感じております）、毎日、エネルギーを充填しないと
いけないなと思っている今日この頃であります。

さて、前任地は、雄勝地域振興局の総務企画部でございました。27年ぶり
の一人暮らしを満喫した次第でしたが、皆さんから脅かされた「湯沢の雪」も
経験できず、（折角、セダンからRVに乗り換えたのに）ちょっぴり残念な気
もしております。

人情よし、酒よし（体調の関係で、思いっ切り飲めず、多少フラストレーシ
ョンが溜りがちでしたが）で、すぐ近くには風情のある泥湯などの温泉や、西
馬音内盆踊りや七夕絵どうろう、小町まつりなど特徴のあるお祭りも数多くあ
ります。また、あまりにも有名な稲庭うどんのほか、三関のさくらんぼ、平良
カブなど、枚挙にいとまがないほどの絶品の食材、それに小野小町に代表され
る美人の宝庫などなど、湯沢雄勝は豊かな郷であると実感いたしましたところ
です。

ところで、雄勝地域振興局の重点プロジェクトとして、「こまちの郷観光創
造隊」が、昨年立ち上げられ、二年間の短期集中型で積極的に活動をしており
ますので、貴重な紙面をお借りして、若干、紹介させていただきたいと思いま
す。

昨年度、振興局に専任組織の「こまちの郷観光振興班」（精鋭3名）が設置
され、市町村・民間の方々を含め、総勢52名で精力的に事業展開しましたが、
印象的なものは、まずは、「こまち弁当」です（地元の仕出屋さん、弁当屋さ
んと何度となく検討を重ね、生まれた逸品です）。



とてもヘルシー（1個当たり646キロカロリー） 地元産にこだわり（あ

きたこまちと古代米・岩魚・稲庭うどん・茄子のばっけ味噌田楽・旬のフルーツ（または山菜など）など・・・）栄養バランスに優れているなど、普段、食事が偏りがちな方に特におすすめのお弁当です。

1個1,000円（税込み）で5個以上から予約を受け付けております（販売先等の問合せは、雄勝地域振興局こまちの郷観光振興班まで（0183-71-8163））

私も4～5回食べましたが、ボリュームがあるわりに低カロリーということで、うれしいお得感があります。ぜひ、機会をみつけてご賞味いただければありがたいかと存じます。

それからJRに掲出したポスター（二種）です。ひとつは、首都圏での車内吊りポスターで、暖簾風がうけたとJR関係者から聞いております。

雄勝といえば、温泉ということで、小安峡温泉、泥湯温泉、秋の宮温泉（車内吊りの掲出時期が冬でしたので、こうなりました）を掲載させていただいたところです。

JR車内吊りポスター（B3 2枚組）



首都圏JR駅貼りポスター（B0版）



もうひとつ、首都圏の駅貼りポスターですが、こちらは、秋の宮温泉郷の野天風呂をイラストで表現したものです。女性の肩とお湯の境目のラインについて、JRさんと振興局で熱い議論があったのを記憶しているところです。

このふたつのポスターには登場しませんでした。私個人のイチ押し温泉は、須川温泉の「栗駒山荘」です。湯に浸かり、眺望のすばらしさ（眼下の湯沢雄

須川温泉「栗駒山荘」



勝の郷や鳥海山を見とおせる）を堪能できる温泉として、随一かと思っています。

（「こまちの郷観光創造隊」は、今年度もまた、ブラッシュアップし、新たな企画をしていると聞いておりますので、皆様とともに、今後のご活躍を期待するものであります。）

ところで、湯沢雄勝地域は、本県では、最も多くの県（岩手

県、宮城県、山形県）と接した地域であり、その利点を最大限活かすことが、この地域の発展につながると強く感じているところであります。

特に通年交通できる宮城県、山形県との交流は重要で、とりわけ百万都市仙台との結びつきが喫緊の課題とっております。

交流人口を大きな視点として、辺境革命（異なる文化等が交わった地域に革命的な発展が生まれる）が起こる、まさに、その典型的な地域ではないかと感じている次第です。

さて、商工業振興課にお世話になり、3ヶ月になろうかとしておりますが、本県の製造業等においては、1人あたりの製造品出荷額、付加価値額など、全国的に低位という厳しい現下の環境をできる限り向上させるべく、日夜努力をしなければならぬと思っておりますし、また、部内、課内の皆様と明るく楽しく仕事をさせていただきたいと存じております。

今後ともご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。